



日下部 裕美子 (くさかべ ゆみこ) 略歴

ゴールドマン・サックス証券東京支店投資銀行部門を経て、米国ワシントン DC の国際機関、米州開発銀行に 15 年間勤務。同行で投資案件のインベストメント・オフィサーを勤め、中南米・カリブ海諸国のプロジェクト・ファイナンス案件を中心にトレードファイナンス、中小企業向け投資ファンド、再生エネルギー・ファンド、証券化などの案件をプロジェクト・リーダー歴任。自身がリード組成した案件で、IDB 総裁から Outstanding Team Award 受賞、革新的な中小企業ファンドスキーム実践で Ortiz Mena 総裁賞、Trade Finance Deal of the Year 受賞。気候変動、貧困削減、民間セクター開発、中小国支援、環境社会的効果審査、開発効果の高い インパクト投資の組成経験。

2015 年に C O O としてインド向けインフラ・デット・プラットフォームの事業立ち上げ、インドの大手銀行との提携交渉 (日印インフラ・パートナーシップ・ファンド)。2016 年、日本生産性本部内の国際 IT 財団 (IFIT) イノベーション・リーダーズ・プログラム (ILP) プログラム・ディレクターとして日本企業の若手幹部候補生グループの先端技術の海外視察調査を『IT x ゲノム情報』、『ビッグデータ AI x アグリ』の分野で実施、異業種のオープンイノベーション促進に貢献。現在は、企業のオープンイノベーションの企画運営・新規事業・海外戦略を支援する株式会社 IMPACT ACCESS (日本)、YK Global Impact (米国) の運営、複数の顧問・事業アドバイザー、新規事業を兼任。

現在の主な役職・活動：

「オープンイノベーション事業デザイン、国際金融経験、海外ネットワークを活用した事業戦略アドバイザー、海外戦略アドバイザー、経営者のための新規事業戦略支援」

東海東京フィナンシャル・ホールディングス CSR 事業・中部地方の経営者向けオープンイノベーション企画運営『中部オープンイノベーションカレッジ』ディレクター及びコアメンバー (2019～)、国立大学法人広島大学オープンイノベーション事業本部 グローバル・クリエイティブ・アドバイザー、産学連携アドバイザー (2019～)。東海東京フィナンシャル・ホールディングス顧問 (2016～)。電通 Smart Cell & Design・新規領域アドバイザー (2017～)、日本政府と企業の連携コンソーシアム・内閣府 SIP 事業・農業データ連携基盤協議会 (WAGRI) の海外戦略企画ディレクター (2018)。慶応大学 SFC 研究所上級所員 (2018～)。経済産業省「未来の教室と Edutech」ワークショップに WS 委員として参加。東京大学文科 II 類入学・留学、英国ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス (LSE) 経済学士。東京大学経済学部 経済学修士。INSEAD Global Executive MBA2014 年卒。日米リーダーシップ・プログラムフェロー、日中リーダーシップ・プログラムメンバー。日印ネクスト・リーダーシップ・プログラム Executive Committee 創始メンバー。